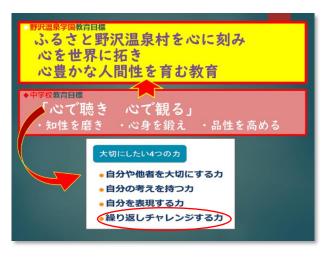
山毛欅の子 野沢温泉学園だより(第5号)

~子どもたちが、ブナ(村木)の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め~

令和6年度の野沢温泉中学校は「繰り返しチャレンジする力」をさらに磨きます!





今年度の野沢温泉中では、昨年度に引き続き、「繰り返しチャレンジする力」を特に大切に考え、さまざまなことに取り組んでいます(↑左写真)。I・2 学期の始業式や年度当初の PTA 総会でも、いろいろな繰り返しチャレンジについて伝えています(↑右写真)。

これからの子どもたちが生きていく世の中は、「人生 IOO 年時代」「VUCA(=変化が激しく、不確実、複雑で、はっきりとした答えのない)時代」ともいわれています。その中で、それぞれが将来にわたってウェルビーイング(=心や体、社会がよりよい状態にあること)を高めていくためには、「なかなか思い通りにならなくても、やり方や考え方を変えたり、周りの人と関わって協働したりしながら、何かにチャレンジし続ける力」は、とても大切な力になると考えています。

中学の3年間で「繰り返しチャレンジする」経験を通して、「大切な場面で自分の力を発揮するための、自分なりの準備の方法」を見つけたり、「あとになって自分を助けてくれるさまざまな知識や技術・考え方」を身に着けたりできるよう、日々の学習や活動を工夫していきたいと思います。地域・保護者の皆様には、野沢温泉中の生徒たちの「今」と「未来」の笑顔のため、今年度も温かいご支援とご協力をよろしくお願いします。





一学期の学習の様子から

| 年:御宿 海の交流 【7/24(水)~26(金)】

I 学期終業式翌日から 2 泊 3 日で、千葉県・御宿町の御宿中学校との交流を実施しました。この行事は、ともに当時の全日本スキー連盟常任理事であった野沢温泉村スキークラブ会長・片桐匡さんと御宿町観光協会長・金井英一郎さんにより、子どもの相互交流について話し合いをしたのをきっかけに、「御宿の子どもが野沢温泉へスキーに、野沢温泉の子どもが御宿へ海水浴に」の思いから始まりました。

昭和51 (1976) 年2月に御宿中の生徒が野沢温泉に訪れ、同年8月に野沢温泉中の生徒が御宿に訪れたのを第一歩として、半世紀にわたって続いている行事です。中学時代を野沢温泉村で過ごした方はもちろん、かつては PTA の方も参加していたとのことで、この交流を経験した村の方はとても多いのではないかと思います。今回お世話になった民宿の方も、「自分の子どもも野沢温泉に行った。ものすごく寒くて大雪だったと、今でもよく話している」と教えてくださいました。



なお、この冬(1/29~31)に野沢温泉村で行われる「山の交流」は、記念すべき 50 回目となります。

【1日目】 交流会 漁船遊覧体験





【2日目】 海水浴・サーフィン・イカの一夜干し体験











【3日目】 月の沙漠記念像 御宿の方のお見送り

ホームページでも日々の様子を発信しています。ぜひご覧ください!

(https://www12.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=c20200112)

(↑をクリック、または「野沢温泉中」で検索か、→の QR コードから)



文責:中学校 石原英樹